

## 編集後記

新潟国際情報大学経営情報学部紀要（Vol.2）が発行されました。論文を執筆された著者の皆さん、またご協力頂いた本学総務課の登坂幸太さん、および印刷・校正を担当された（株）第一印刷所の滝澤勇太さんに感謝いたします。

新潟国際情報大学経営情報学部は、2018年4月に情報文化学部情報システム学科から、経営学科と情報システム学科の2学科体制に移行しました。経営学科においては新学科の誕生ということで、経営学関連の教育の充実を第一にかかげながら、地元新潟に貢献する地域活動に活発に取り組んでいます。また、経営学分野で最も歴史を有する日本経営学会の第92回大会を昨年9月に本学の新潟中央キャンパスで開催する等、研究活動やそれをサポートする学会活動に積極的に取り組んでいるところです。情報システム学科においては、情報とシステム、人間と社会、経営と組織やコンピュータと通信など、文系と理系にまたがる幅広い領域にわたる情報システム学の教育、研究に精力的に取り組んでおります。

両学科の教員陣が日頃、幅広く活発に活動を展開していることから、紀要論文に収録されたテーマはかなり広い範囲にわたっています。そのため、紀要論文の目次を学術分野ごとに並べるのは困難であったため、第一執筆者の名前（アイウエオ）順に配置することとしました。

創刊号（Vol.1）では紀要論文5本、研究ノートが3本でしたが、「小さく生んで大きく育てる」という諺どおり、本号（Vol.2）では、紀要論文11本、研究ノート4本を収録することとなりました。内訳をみると、学生の卒業研究による成果をまとめた教員との共著、外部競争資金による研究成果（中間報告）である他大学の研究者との共著、さらには地元からの要望による共同研究をまとめた近藤進教授の共著など、共著論文が増えていることが特徴となっています。このことは、本学教員の日頃の卒業研究を通じた研究指導や、教員の研究活動のひろがりが増えつつあることを示唆しているように思います。

引き続き、教育活動と研究活動を両輪としながら、今後は多彩に展開している地域活動の報告なども収録する方向で検討したいと考えております。研究内容や紀要論文の在り方についてご意見等ありましたら、連絡頂ければ幸いです。

経営情報学部長  
(兼)紀要編集委員長  
小林満男